

令和4年度 府立学校アドバンスセミナーC
(チームビルディング) 実施要項

- 1 目的 教職経験5年目から9年目までの教諭に対して、現職研修の一環として、個々の教諭の能力、適性等に応じて必要な事項に関する研修を実施し、指導力の向上等、教諭としての資質向上を図る。

※この研修は、教育公務員特例法第24条「中堅教諭等資質向上研修」に相当する研修である。

- 2 対象 教職経験5～9年目の教諭

募集人数 230名

3 内容等

| 回 | 日時 | 内容 | 会場等 |
|---|---|---|-----------|
| 1 | 7月13日(水) ～ 7月26日(火) 提出締切:8月2日(火) | 組織づくり チームビルディング【理論】 一人ひとりの能力や強みを生かした 組織づくりー | オンデマンド開催 |
| 2 | 7月～2月 | 組織づくり チームビルディング【実践】 | 所属校等 |
| 3 | 2月3日(金) 14:00～17:00 | 組織づくり チームビルディング【検証】 | 大阪府教育センター |

※10年経験者研修校外研修の一環として実施

全3回の受講により、10年経験者研修の「組織づくり チームビルディング【理論】回」「組織づくり チームビルディング【実践】回」「組織づくり【検証】回」の免除を希望することができます。

- 4 会場 第1、2回 所属校等

第3回

大阪府教育センター(大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882)

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 担当室 学校経営研究室

- 6 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は教育センターに駐車できません。
(4) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認しておくこと。
(5) Web開催(オンデマンド開催、リアルタイム開催)の場合、研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。

個別募集

令和4年度 府立学校アドバンスセミナーC
(チームビルディング) シラバス

1219

1 目的

教職経験5年目から9年目までの教諭に対して、現職研修の一環として、個々の教諭の能力、適性等に応じて必要な事項に関する研修を実施し、指導力の向上等、教諭としての資質の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

| OSAKA 教職 スタンダード | 共通の指標 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------|---|---|----|---|---|-----|---|---|----|----|----|----|----|----|
| | I | | | II | | | III | | | IV | | | V | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 第4期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3期 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| 第2期 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | |
| 第1期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第0期 | | | | | | | | | | | | | | | |

3 研修課題とねらい等

| 回 | 研修課題 | ねらい | 準備物・事前課題 |
|---|---|--|--|
| 1 | 組織づくり チームビルディング 【理論】 一人ひとりの能力 や強みを生かした組 織づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・チームビルディング（組織関係づくり）の基本を学び、組織の課題解決のスキルを身に付けるとともに、自らが果たす役割を認識する。 ・講義、演習等を通して、組織マネジメントや人材育成についての知識を身に付ける。 | |
| 2 | 組織づくり チームビルディング 【実践】 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義、演習等を通して学んだことを生かし、所属校の校務等でチーム内の自分の役割を意識して実践する。 ・チームビルディングを意識した所属校での実践をレポートにまとめることを通して、自らの取組みを振り返り、自分の果たした役割について考察する。 | |
| 3 | 組織づくり チームビルディング 【検証】 | <ul style="list-style-type: none"> ・所属校での実践を基にした研究協議を通して、チームビルディングを意識した各校での取組みを共有する。 ・自らの取組みの成果と課題及び協議を踏まえて、次年度に向けてミドルリーダーとしての具体的な取組み内容について考える。 | 準備物 実践レポート ⇒ ダウンロード |